

日時：平成25年3月8日(金) 13:00

場所：東京大学法文二号館一番大教室

# 災害が遺したもの—語りつぐ記憶と備える文化

Après le désastre - Responses commémoratives et culturelles

[趣旨説明] 池澤優 (東京大学文学部)

## 第1部 災害の記憶

■保立道久 (東京大学史料編纂所)

地震の神話とタブーの忘却—九世紀の大地震・「貞観地震」の記憶

■Grégory BEAUSSART (トゥールーズ大学)

東南紀の海岸線における津波による死者の記憶を伝える

[コメント] 島蘭進 (東京大学文学部)

## 第2部 災害に備える文化

■Nicolas ELLISON (フランス社会科学高等研究院)

戦争、台風と商品化—トナク (メキシコ) 社会の経験における社会・環境的断絶としての災害

■Cecile Brice (日仏会館・フランス国立日本研究センター)

仮設住宅と仮の生

■石田葉月 (福島大学)

低線量被ばく問題を考える—ひとりの福島県民、そしてエネルギー経済学者として

[コメント] Anne Bouchy (フランス国立極東学院)

[司会] 小島毅 (東京大学文学部) 榊原哲也 (東京大学文学部)

<連絡先>

東京大学文学部・人文社会系研究科  
死生学・応用倫理センター

[Email] dalspe@l.u-tokyo.ac.jp

[Tel] 03-5841-3736

[Fax] 03-5841-0259

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/dalspe/>



同時通訳つき／入場料 無料／事前登録 不要